

U23世界選手権レポート (11)



富田選手（明治大学）、銀メダルを獲得！！

7/26 (日)

レース最終日

いよいよ決戦の日です。各自時間に合わせて移動、アツプをするなか、昨日レースを終えた選手たちが艇の積み込みや工具の整理等を率先して行ってくれました。蹴りだしの際やオール取りなど、レースへのサポート体制も万全です。

9:35にJPN勢最初のレース、男子ダブルスカル（長田選手・大塚選手）レースがスタート。スイスやハンガリーなど先日対戦した欧州勢に再び挑みます。日本はスタートでトップのポーランドに次いで2位で500mを通過。その後も2位集団にくらいつき、3～5位接戦の中4着でラストクォーターへ。最後0.04秒差でポーランドに敗れ5位でのフィニッシュ。悔しさもあつたかもしれませんが、今日は世界のスピードと勝負した後の清々しい表情が印象的でした。総合11位、今後へ多くの収穫を得ることができたと思います。

続いて女子シングルスカル（冨田選手）の決勝がスタート。今日は電光掲示板上でレース中継が改善されており、途中経過をリアルタイムで確認することができました。冨田選手はスタート直後からギリシャ、リトアニアと激しいトップ争いを繰り広げます。1500mまで3位で通過すると、終盤に強い冨田選手はラストスパートをかけギリシャに次いで2位でゴール。体格のよい欧州の選手らにも負けず、堂々の銀メダル獲得となりました。表彰式後には大久保会長からも祝福していただきました。

男子シングルスカル（福井選手）の決勝は10:25にスタート。シニアのワールドカップで入賞した選手もあり激戦が予想されていました。フランスがスタートから飛び出すなか福井選手も序盤から果敢に攻め、500mを3位で通過します。しかしクロアチア、中国等各国選手が中盤以降あげレースがヒートアツプするなか徐々に引き離され、くらくらいついて行くことが出来ず6位でフィニッシュ。ワールドカップII・III戦から3大会、約1ヶ月間の欧州遠征を戦ってきた福井選手は課題を見つけると同時に確実に成長してきたといえるでしょう。この経験を今後世界で戦う糧にしてほしいと思います。

最後に男子舵手なしフォア（荒木選手・林選手・志賀選手・佐藤選手）のレースがスタート。相手はイタリア・フランス・アメリカ・ドイツ・イギリスと強豪国揃い。今大会のこの種目はエントリー数こそ多くないものの、ハイレベルな争いとなりました。日本は500mを5着で通過。これまでのレースでも、体格の良い欧米諸国にスタートから勝てることは少なかったためその後の挽回をはかりますが、世界の壁は厚く中盤以降も他フルーのペースが落ちません。そのまま攻めるも抜くに抜かせず、5位でのフィニッシュという結果になりました。メダルを期待されていただけあつて残念な結果とはなりましたが、重圧のなか非常に健闘し、また世界で戦う厳しさを身をもって感じたことでしょう。来年以降出場機会のある選手には、この悔しさを忘れずまた頂点に立つてほしいと思います。



ユニバーシアードの金メダル獲得に続き、見事、銀メダルを獲得したBLW1x富田選手（明治大学）と大久保日本ボート協会会長

以上で、日本選手団のU23世界選手権全レースが終了しました。レース後は、会場にてユニフォームを交換するなど、外国選手と交流する選手の姿が。

選手団は7月27日（月）の現地時間AM 3:45にホテルを出発し、長い旅路の後、7月28日（火）日本時間7:45頃、成田空港に無事到着しました。この中から、今後のボート界を担う選手陣が出てくることを期待、そして確信します。

多くのご声援本当にありがとうございました。



上：Final B で奮闘するBLM2x（長田選手（早稲田大学）・大塚選手（日本大学）

下：Final Aで6位に入ったBLM1x（福井選手（東レ滋賀））



上・下: Final A で奮闘するBLM4- (佐藤選手・志賀選手・林選手・荒木選手 (ともに日本大学))



国旗掲揚台に挙がる日の丸



ご支援・ご声援ありがとうございました！！